

市 町 村：西村山管内5市町（寒河江市、河北町、西川町、朝日町、大江町）

タイトル：農家の収入を支えて30年 今も拡大を続けるなすの代表産地

氏名(集団名)：さがえ西村山なす部会

## 1 受賞者の概要

JAさがえ西村山管内では、昭和後期までは水稻＋果樹の複合経営が主であったが、初夏～秋期の収入源としてなすを導入。栽培が比較的容易であり、女性・高齢者でも取組みやすい品目であることから、河北町を始めとして管内に生産が広がっていった。

令和2年度の部会員数は72名、面積は951a、販売金額は8,380万円であり、JA全農山形のなすの販売実績額においてJAさがえ西村山は県内1位となっている。

## 2 特色ある活動

### (1) 収量・品質の安定化、安全安心の取組み

全会員の圃場巡回や、新規栽培者向けの栽培講習会を実施し、収量や品質の安定化を図っている。また、会員の多くがエコファーマーを取得しており、堆肥や植物性有機質を含む肥料を使用することで、安全安心な農産物作りを図っている。



### (2) 地域波及・食育活動への取組み

管内の全小学校の学校給食に管内で栽培されたなすを提供している他、大江町では生産者が講師となってなすの栽培等を教える食育授業を実施している。



### (3) 販路拡大の取組み

品質の高さが評価され、山形や京浜の市場だけでなく、金沢市や神戸市の市場とも取引を進めることで、市場では以前より高単価で取引されている。高品質化を進めたことにより、部会のキロ当たり単価は年々上昇傾向にある。

## 3 今後の発展方向

「くろべえ」なすにおいて令和2年度から生協との新たな取引が始まり、より高単価での販売を見込まれるため、生協の出荷基準に合った防除体系への見直しを進めている。新規栽培者を確保しながら、安定した生産量を確保しつつ市場ニーズに応え、販売額1億円の産地を目指していく。

